

「魚を育てる川づくり ―河川環境と魚類―」のご案内

環境研究室

地域固有の自然環境に応じた河川環境の保全や再生などの取り組みが全国的にはじまっています。北海道の河川は比較的自然が多く残されている方ですが、流域の開発による生態系への影響や、健全性の低下が懸念されています。また、河川の整備や管理においても、生物相の豊かな川づくりへの配慮が求められています。そこで、北海道の貴重な財産である河川、水辺生態系の保全、再生に向けて必要となる知見の蓄積が重要な課題となっており、環境研究室では昨年度より北海道立水産孵化場と共同研究を行ってきました。

このたび、我が国の魚道研究の第1人者である中村俊六名誉教授の御講演と、濁水や河川の物理的な特性が魚類の生息環境に与える影響や、河川生態系のメカニズムについての研究情報を交換するセミナーを企画いたしました。多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

1. 主催：北海道立水産孵化場、(独)北海道開発土木研究所
2. 開催日時：平成17年2月4日(金)13：30～17：00
3. 開催場所：北海道立水産孵化場 研修館（恵庭市北柏木町3丁目373 TEL：0123-32-2135、交通機関等の御案内 (<http://env-web.ceri.go.jp/index.htm>))
4. 参加費：無料
5. 定員：100名程度
6. 申込方法：参加を希望される方は①参加者氏名、②勤務先・所属、③連絡先、④駐車場希望の有無を明記して、E-mail(nakajimam@fishexp.pref.hokkaido.jp)、FAX (0123-34-7233)にて中島（北海道立水産孵化場）まで申し込みください。
7. 問合せ先：北海道立水産孵化場さけます資源部（TEL：0123-32-2135、中島美由紀）
北海道開発土木研究所環境研究室（TEL：011-841-1696、矢部浩規）
8. 内容（都合により変更となる場合がございますので、予めご了承ください）

【講演】（13：30～15：05）
中村俊六氏（豊橋技術科学大学名誉教授）
「これからの川づくり」

【セミナー】（15：15～17：00）

- ・濁りが河川生態系に与える影響について―河川性サケ科魚類を中心に―（仮題）
ト部 浩一 研究職員（北海道立水産孵化場道南支場）
- ・サクラマス稚幼魚への濁水の影響について―飼育実験から―（仮題）
楠田 聡 研究職員（北海道立水産孵化場内水面資源部）
- ・サクラマスの生息と河川の物理環境の関係について（仮題）
矢部 浩規 副室長（北海道開発土木研究所環境研究室）

後志利別川水系メッ川（今金町）

